

事務事業名	子ども未来プロジェクト推進事業	事業期間	2008 ~	年度	係内番号	09
担当部署	子ども部	子ども課	子ども係	連絡先	613	

計 画 目 的 意 図 （ ど う し て ）	政策番号	02	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	高					
			基本計画①	01	教育大綱	0103	地域が支える子育て環境の充実								
			基本計画②	01	子ども・家庭応援計画	1201	夢をもち、かなえることができる、自己実現の応援								
			実行計画	01	子ども・家庭応援計画	1201	夢をもち、かなえることができる、自己実現の応援								
P 目 的 意 図 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	予算事業名	子ども未来プロジェクト推進事業費				会計コード	01	款	10	項	05	目	03	事業	11
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	茅野市の子ども達が、茅野市の未来を「もっと住みやすく、住んでみたいくなる」まちにするため、自分達が日頃思ったり感じていること、まちづくりの意見、アイデアなどを自由に話し合い、それを実現させていくような継続性のある中高生の組織として「未来プロジェクト」が発足した。この「未来プロジェクト」を事務局としてサポートしていく。													
	現状と背景 （どうして）	中高生が集まりまちづくりについて意見交換、提言をする場として平成20年度から「子ども会議」を開催してきた。その後回数を重ねていくにつれて、提言するだけではどうしてもその場限りになってしまい、その後の発展に繋がらないのではないかという思いが強まった。そのため、意見や提言を挙げるだけでなく考えたことを実践する組織として「未来プロジェクト」が必要とされた。													
	対象 （直接働きかける）	受益者 （誰のために）	市民												
L 手 段 ・ 方 法 （ ど う や っ て ）	対象 （直接働きかける）	市内在住・在学の中高生世代													
	目的 （どんな状態にしたいか）	今まで気がつかなかった社会に対する視野を広げ、自由な発想と自立心を伸ばす。自分の意見を表明することができるようになる。大人も子どもたちの意見を尊重し、パートナーとして茅野市のまちづくりに共に取り組んでいくようになる。													
	手段・方法 （どうやって）	メンバーを公募し、メンバーが日頃思ったり感じていること、まちづくりの意見・アイデアなどを自由に話し合う中で、次の3点を基本理念として活動を行う。①自分達でできることは自分達で即実行していく。②大人の力を借りなければいけないことは、大人がサポートして実行する。③どうしても行政の力を借りないといけないことは、市へ提言する。また、現在まで実施されている「子ども会議」の企画・運営を行う。プロジェクトについて広く周知する。													
	A N 評 価 指 標 の 作 成	行政が活動することで作り出すもの	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値									
活動指標		1 定例会の開催	開催回数	回	開催回数実績	10									
		2 プロジェクトメンバーの構成	メンバー数	名	メンバー実績	30									
		3 大人サポーターの養成	メンバー数	名	メンバー実績	15									
D O 成 果 指 標	変更履歴														
	成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値									
		1 自己肯定感と自己有用感をもち自己実現ができる子どもの育成	子ども会議への参加者数の増	名	参加者数実績（どんぐりプラン目標指標に掲載）	500									
		2 帰ってきたい魅力あるまちづくりの推進	将来は茅野市で暮らしたいと思う15歳～18歳の割合	%	暮らしたい市内子どもの人数/子ども会議でのアンケート回答者数（KPI・どんぐりプラン目	80									
実 施 状 況 （ 備 考 ）	変更履歴														
	財 源 内 訳	事業費等(a)	円	358,700	465,000										
		国庫支出金	円												
	地 方 財 源	県支出金	円												
地方債		円													
一 般 財 源	その他特定財源	円													
	一般財源	円	358,700	465,000											
活 動 指 標	開催回数	目標	回	10	10										
		実績	回	20											
		達成率	%	200.00	-	-	-								
	メンバー数	目標	名	30	30										
		実績	名	39											
		達成率	%	130.00	-	-	-								
メンバー数	目標	名	15	15											
	実績	名	12												
	達成率	%	80.00	-	-	-									
成 果 指 標	子ども会議への参加者数の増	目標	名	250	250										
		実績	名	150											
	達成率	%	60.00	-	-	-									
	将来は茅野市で暮らしたいと思う15歳～18歳の割合	目標	%	80	80										
実績		%	50												
達成率	%	62.50	-	-	-										

実 施 状 況 （ 備 考 ）	項 目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	事業費等(a)	円	358,700	465,000			
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
地 方 財 源	地方債	円					
	その他特定財源	円					
一 般 財 源	一般財源	円	358,700	465,000			
	活動指標	目標	回	10	10		
成 果 指 標	開催回数	実績	回	20			
		達成率	%	200.00	-	-	-
		目標	名	30	30		
	メンバー数	実績	名	39			
		達成率	%	130.00	-	-	-
		目標	名	15	15		
メンバー数	実績	名	12				
	達成率	%	80.00	-	-	-	
	目標	名	250	250			
成 果 指 標	子ども会議への参加者数の増	実績	名	150			
		達成率	%	60.00	-	-	-
	将来は茅野市で暮らしたいと思う15歳～18歳の割合	目標	%	80	80		
		実績	%	50			
達成率	%	62.50	-	-	-		

事務事業名	子ども未来プロジェクト推進事業	事業期間	2008 ~	年度	係内番号	09
担当部署	子ども部	子ども課	子ども係		連絡先	613

項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
中 評 価 課長評価日	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化				
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)				
	翌年度成果 方向性 コスト				

項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事後 評 価 ( C H E C K )	<p>～成果変異動指要標因分析～</p> <p>メンバー以外の子どもの参加が非常に少ない結果となった。そのため、アンケートの回収率も低くなり、全体としての成果指標の目標未達となった。</p>				
	<p>総合評価</p> <p>成果</p> <p>子どもまつりや縄文フェスティバルへの参加、子ども会議の運営、古本カフェで挙げた収益で本を寄付するなど、メンバーが考え、実践するという一定の効果が出ている。</p>				
	<p>課題</p> <p>メンバー以外の子どもの参加が非常に少ない結果となった。そのため、アンケートの回収率も低くなり、全体としての成果指標の目標未達となった。</p>				
改革・改善の方向性(ACIT)	<p>翌年度成果 方向性 コスト</p> <p>現状維持</p> <p>現状維持</p>				
	<p>改革の方向性の内容</p> <p>メンバーが各中学校に勧誘目的で訪問しているが、これは毎年、子ども会議後に実施している。市内の中学生及び高校生の参加者を多くするために、勧誘活動を前倒して子ども会議前に実施することで、子ども会議のPRIになり、参加者が増えると考えられる。コストはほとんど増えない見込みである。</p>				

作成担当者	小坂秀輔				
最終評価責任者	五味健志				
最終評価年月日	2019年5月17日				